

第25回 骨盤輪寛骨臼骨折研究会プログラム

日時: 令和7年6月29日 午前8:30~午後2:00

場所: Pacifico横浜 502会議室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

TEL : 045-221-2155

		演者（敬称略）
8:30-8:40	開会挨拶	野田知之 川崎医科大学総合医療センター
8:40-09:10	特別講演 II	座長: 野田知之 （川崎医科大学総合医療センター）
	骨盤寛骨臼骨折における術中出血を減らすための工夫	前川尚宜 奈良県立医科大学高度救命救急センター 准教授
9:10-9:40	特別講演 II	座長: 野田知之 （川崎医科大学総合医療センター）
	Early management of severe pelvic fractures with hemorrhagic shock	Chris Moran MD FRCS Professor, Honorary National Strategic Incident Director, NHS-England
10:00-10:45	症例検討 I : 骨盤輪骨折	座長: 鈴木 卓 （帝京大学）
	1 骨盤輪骨折におけるDual SAI Screwの適応と限界 2 寛骨臼の上が偽関節となった脆弱性骨盤輪骨折Type IVCの1例 3 複数回手術を要したAO分類61C1の一例	菅 重典 岩手医科大学付属病院 岩手県高度救命救急センター 岡崎 真悟 聖マリア病院 整形外科 北田 真平 兵庫県立西宮病院
10:45-10:55	休 憩	
10:55-11:55	症例検討 II : 寛骨臼骨折	座長 : 小久保安朗 （福井大学）
	1 高齢者寛骨臼骨折で心停止に至り、PPPの蘇生処置で救命したもの、その後の再建プランが遂行できなかった症例 2 QLS遠位が骨折中心の寛骨臼骨折を治療した1例 3 致死的な多発外傷で同側の大腿切断施行後に手術を行った両柱+後壁粉碎骨折の1例 4 何が違う？いつも通りのCollinear reduction clampで整復できなかった前柱+QLP（不全両柱）の1例	反町 光太郎 福島県立医科大学医学部 救急医療学講座 賀 鵬 湘南鎌倉総合病院 岩田 英敏 JA愛知厚生連海南病院 整形外科 普久原 朝海 済生会新潟県中央基幹病院 外傷再建外科
11:55-12:30	昼 食	
12:30-13:30	症例検討 III : 骨盤輪骨折 + 寛骨臼複合	座長 : 伊藤雅之 （会津中央病院 外傷再建センター）
	1 股関節脱臼を伴った骨盤輪寛骨臼複合骨折の骨接合術後に再脱臼した1例 2 骨盤輪骨折・股関節脱臼骨折合併例において関節脱臼観血的整復術を要した1例 3 骨盤輪骨折後変形治癒に対する変形矯正骨切り術 4 Pelvic ring fracture in Africa	安藤 輝彦 岡山大学 整形外科 松山 善之 東京都立墨東病院 高度救命救急センター 中川 翔太 新百合ヶ丘総合病院 小久保安朗 福井大学
13:30-13:35	閉会挨拶	野田知之 川崎医科大学総合医療センター